



「ならぬものはならぬ」



6月23日(火)に『人権・ふれあい学習講座』がありました。6年1組の庄司美保子先生が「子どもとの関係を築く」プラスのストロークと題し、ご自身とお子様との関係を顧みながら、時に保護者としての目線に立って講演をして下さいました。プラスのストロークとは、相手をほめること。自分や誰かを肯定して認めること。プラスに対して、マイナスのストロークとは、相手をけなすこと。自分や誰かを否定して、認めないこと。そして、このプラスのストロークの最大の特徴で良い所は、誰かにプラスのストロークを送ったら、その半分は自分の心にプラスのストロークとなって返ってくる、という事です。そして、子どもたちには承認欲求があり、それを満たしてあげるには、大人が子どもたちの存在を認めてあげて、尊重すること。こどもの話をしっかりと聴いてあげることが大切。それがプラスのストローク。ですが、そのプラスのストロークが減り、子どもが愛情の飢餓状態になると、子どもたちはマイナスのストロークで心のバランスを補おうとするそうです。私たち大人は、子どもたちにマイナスのストロークが入る余地がないほどにプラスのストロークを浴びせ掛けてあげましょう。ですが、子どもたちに集団規律を身に付けさせる為には、「ならぬものはならぬ。ダメなものはダメ。」という厳しい態度も時には必要です、と、おっしゃられていました。



エルルにエール

エルルは、現在8名程で活動されていて、毎月2回の『読み聞かせ』と『お話会』。そして年に数回『スペシャルお話会』を行っています。6月24日(水)のスペシャルお話会では、本の朗読に合わせて手作りの紙人形などを使い、パネルシアターとペプサートで100名程の子どもたちの注目を集めていました。自分たちが保護者として、出来ることを出来る範囲でちょっとだけ頑張り、自主的なサークル活動を生み出し、互いがそこから更に学び合う、PTAの原点とも言えるエルルの活動にエールを送りたいと思います。



※ペプサート
「紙人形劇」＝
「paper puppet theater」
(ペーパー・パペット・シアター)
を短縮した造語だそうです。



ブックレビュー 読む(親も家読)

『大人に役立つ！ 頭のいい小学生が 解いているパズル』

松永 暢史/星野 孝博 著 KADOKAWA

遊びながら頭がよくなるパズルという触れ込み。パズル教育が算数教育の土台となる能力を培うらしいが、それはさておき、これがなかなか手強い。頭の体操と言われるだけあって普段使わない脳ミソのエリアを使わないと解けない。制限時間、小学生の正解率なども示されていて、やる気に火が付く。夏休みに、お子様と一緒にチャレンジしてみたいかでしょう？



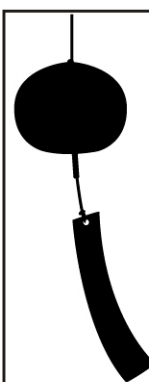
りっぱなお米になりますように。

6/26 5年生の子どもたちが小雨模様の中、田植えを行いました。苗は、種もみから自分たちで育てました。一通りの説明と注意を農家の山本さんに受けたものの、実技ではみんな苦戦しているようでした。上手く出来ないながらも、土の冷たさや柔らかさ、苗の生命力など、何かしら感じ取ってもらえたかな? 『米』という漢字は、稲作には88の手間がかかることから、八十八という文字を組み合わせ、米という漢字が出来たという説。少々ランダムに植えつけられた苗と子どもたちの姿を重ね合わせ、これから沢山の手を掛けて、頭を垂れる稲穂(大人)に育てていかなくてはならないと思います。当日は、多くの保護者の方々にもお手伝いをして頂きました。



筑前町PTA連合会 研修会のお知らせ

8/28(金) 開場18:30 開演19:00～ ●コスモスプラザ ふれあいホール
「いのちと夢のコンサート」ゆげひる(弓削田健介・比留間光悦)
●夏休み後半の思い出づくりに、ぜひご参加下さい。



セルフコントロール

風鈴のように、風任せに生きてきた私は、自らを律することが出来る人に憧れます。本来、大人とはそうあるべきなのだろうと、我を振り返ると、あまりにも自分にアマイ「明日やろうは馬鹿野郎」がそこにいます。昔は、修身という教科があったそうです。そこで何を教えるかというと、読んで字のごとく「身を修める」こと。自らを律する力を身につけるための教科。与えられたルール、約束を守るのは当たり前。そこでは、自らに課題を課して自分自身を律することが常識的に学ばれていました。道徳の時間に似てはいるけど、社会的モラル以上に自分自身を高める意識を植え付ける。自分で自分を管理するセルフコントロール。自由を履き違えると、永遠に辿り着けない気がします。そんなことを、48才を手前に嘆いていること事態、既にかなり出遅れていることに気付き、更に重たい気分になります。落ち込んでいても仕方がないから、セルフコントロールで自分で自分を律します。